

壱岐高便り

第188号

発行責任者
濱野 正義



携帯
サイトへ

長崎県立壱岐高等学校

[TEL]0920-47-0081

長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触88

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



この壺は満杯か？

校長 濱野 正義



高総体という一つの大きな行事が終わり、それぞれの立場で新しいことに取り組もうとしている生徒諸君に、西村博之さんの著書『1%の努力』の中にある『この壺は満杯か？』という有名な話を紹介します。

教授は「クイズの時間だ」と言って、大きな壺を教壇に置き、その中に1つ1つ岩を詰めていきました。

岩で壺がいっぱいになると教授は生徒に尋ねました。「この壺は満杯か？」

生徒たちはみんな「はい」と答えました。教授は「本当かい？」と言いながら今度はバケツに入った砂利を持ちだしました。その砂利を岩の詰まった壺に流し込み、ゆさゆさと壺を振って隙間を埋めていきました。

教授は再び生徒たちに尋ねました。「この壺は満杯か？」

学生たちは答えられず黙っています。1人の生徒が「たぶん違うと思います」と答えました。教授は笑いながら「そうだ」と言い、今度は砂の入ったバケツを取り出しました。そして、岩と砂利の詰まった壺に、その砂をさらさらと流しこみました。

教授は再び質問します。「この壺は満杯か？」生徒たちは声を揃えて「いいえ」と答えました。

すると教授は水差しを取り出して岩と砂利と砂の詰まった壺に水を流し込んでいきました。壺の縁までみなみと水を注いだ後に生徒たちに最後の質問を投げかけました。

「僕が何を言いたいのかわかるだろうか？」

1人の学生が手を挙げて答えました。「どんなに忙しくてスケジュールが厳しい時でも、最大限に努力をすればいつでも予定を詰め込むことは可能だということです。」

教授はこの回答に「それは違う」と答えました。

「重要なポイントはそこではない。この例が私たちに示してくれる真実は、大きな岩を先に入れない限り、それが入る余地は、その後二度とないということだ」

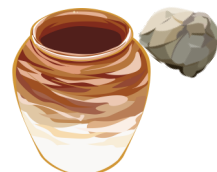
「君たちにとって大きな岩とはなんだろう」と教授は話を続けました。「それは志であったり、愛する人であったり、仕事であったり、家庭であったり、自分の夢であったり。ここで言う大きな岩とは君たちにとって一番大事なものだ。それを最初に壺の中に入れなさい。さもないと君たちはそれを永遠に失う事になる。もし君たちが小さな砂利や砂、つまり自分にとって重要性の低いものから壺を満たしていけば、君たちの人生は重要でない『何か』に満たされたものになるだろう。そして大きな岩、つまり自分にとって一番大事なものに割く時間を失い、その結果、それ自体を失うだろう。」

自分にとって何が一番重要なのかを考えずに生活している人は、大人でも多いのではないのでしょうか。

生徒諸君、自分にとっての大きな岩は何ですか？

それを見つけることが、高校生の君たちにとって大切なことなのです。

大いに悩んで、自分探しをしましょう。未来の自分のために。



第 3 学 年 よ り

6月上旬の高総体を節目に、ほとんどの生徒が部活動を引退しました。「本物の受験生」になるために、①受験生の生活リズム ②集中できる環境整備 ③学習サイクルの確立の3点に取り組み、個人としても、集団としても、受験生としてのレベルを上げるべき時期を迎えています。

6月15日（火）に行われた進路講演会では、北九州予備校長崎校の阿南先生をお迎えしてご講演をいただきました。学力の差を生む一つの要素としての「集中力」や、それを維持するための「正しい姿勢」の大切さなど、受験を乗り切るポイントを多く教えていただきました。

保護者の皆様、7月12日（月）～7月16日（金）の期間に三者面談を予定しています。お子様の希望する進路実現に向けて情報共有を行い、具体的な進路先を話し合う貴重な機会となりますので、事前にお子様とよく話をしていただきますようお願いいたします。

を企画しました。生徒の皆さんには、攻めの姿勢での学習の取組を期待します。

保護者の皆様、急な暑さや肌寒さで体調管理の難しい季節です。十分な睡眠・栄養、運動など、規則正しい生活の保持にお力添えください。7月の三者面談に向けて、進路のことなど、事前にお子様とご相談ください。



↑ 県内就職講演会の様子

第 1 学 年 よ り

6月12日（土）に文理選択説明会および進路講演会を実施しました。お忙しい中、ご来校していただきました保護者の皆様、ありがとうございました。体育館でZoomを利用した説明ということで、ご不便をおかけしたところもあるかもしれませんが。進路説明もマネープランも専門の方に説明をしていただき、貴重な情報をお伝えすることができたのではないかと思います。生徒たちは特に、進学に必要なお金を知ったことにより、自分の進路実現に向け勉学の励みになっているように感じます。

また、18日（金）には性教育講演会を実施しました。吉岐保健所より講師をお招きし、高校1年生に知ってもらいたい話をさせていただきました。ご家庭でも話題にあげていただければ幸いです。7月中旬には三者面談があります。文理選択やコース選択について確認をする予定です。1学期期末考査も始まります。1学期の総復習として、充実した家庭学習時間の確保にご協力ください。



↑ 進路講演会の様子

第 2 学 年 よ り

高総体が終了しました。2年生も複数の競技でエントリーされ、大舞台を経験しました。緊張しながらも、全力を尽くしたことと思います。高総体に限らず、様々な部活動で2年生の活躍が耳に入るようになってきました。加えて、生徒会では役員選挙があり、2年生が生徒会行事を牽引する番になりました。1学期は、3年生の引退を節目に2年生がリーダーとなる時期です。代替わりの時期、2年生のリーダーシップが楽しみです。

学習面では、1学期期末考査や対外模試へ向けて、昨年度に引き続き「部活対抗質問QUEST」や「バーチャル入試」といった取組



↑ 文理選択説明会の様子

進路支援部より

7月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

★：土曜学習・学校開放

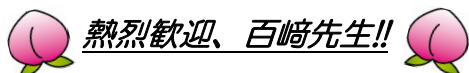
1年生は文理選択説明会を経ての文理選択、2年生はコース選択、3年生は就職・公務員100日前集会、進路に応じた模試など、6月は進路行事がたくさんありました。大学・短大・専門学校ではオープンキャンパスが開催される時期でもあります。学年に応じて、自らの進路にしっかり向き合い、考えてみてください。

3年生は高総体が終わり、いよいよ受験です。気持ちの切り替えをし、学習に専念しましょう。第一志望合格には「今」が大切です。時間は限られています。これまで以上に授業や家庭学習を大切にしましょう。

また、文部科学省の「GIGAスクール構想による1人1台端末環境の実現」により、本校でも7月から8月にかけて、1人1台タブレット端末が支給される予定です。これには「ICTの活用により、Society5.0時代を生きる全ての子どもたちの学びを保障できる環境を実現する」という目的があります。端末が届いた際はぜひ有効活用していきましょう。



東アジア歴史・中国語 コース



新型コロナウイルス感染拡大防止のために、今年も中国人講師の先生が入国できない状況が続いています。そのような中、上海外国語大学3年で本校卒業生（70回生）の百崎琳恭（ももさき りく）先生が1学期の間、中国語の指導をしてくださることになりました。百崎先生もコロナ禍で上海外国語大学に戻ることができず、壱岐高での授業以外の時間は壱岐の実家でオンライン授業を受けられています。

中国語だけでなく、上海での生活の様子など貴重な体験についても教えてくださり、生徒たちにとってよい刺激となっています。1学期の間、どうぞよろしく願いいたします。



↑百崎先生との授業の様子

1	木	期末考査①②③ 野球部推戴式 容儀指導 生徒会総務委員新旧交代のつどい	
2	金	考査レビュー日、人権学習① 漢字検定(放課後)	SC
3	土	★①②③ 公務員セミナー③・ｲﾝﾀｰﾝ事前指導③ 高大連携①②	★
4	日		通
5	月	インターンシップ(～9日)	
6	火		
7	水		
8	木	LHR(SNSを考える ①②③)	
9	金	いのちの授業(SC講話)	SC
10	土	進研記述(5教科)③ 公務員模試(実教)③ ｲﾝﾀｰﾝ事後指導③進研実力(3教科)①②	
11	日	進研記述(5教科)③	
12	月	三者面談(午後)(～16日) 上海外大遠隔(午後,東ｱ①)(～14日)	SSW
13	火		
14	水		
15	木		
16	金	上海外大遠隔(午後,東ｱ①) 4校時:ブロック行事	SC
17	土	★③ 公務員模試③ ※長大OC	★
18	日	登校自学③ 公務員無料講習(福岡)③	通
19	月	壱岐高寺子屋②	SSW
20	火	終了式・大掃除 吹奏楽部推戴式 学年集会、LHR	
21	水	夏季授業①②③(～7月30日)	
22	木	【海の日】学校開放	★
23	金	【スポーツの日】※長大OC	
24	土	※長大OC 県吹奏楽コン(～25)	
25	日		通
26	月	☆体験入学 発掘調査、上海遠隔(②③)(～30日)	
27	火	発掘調査、上海遠隔(②③)	
28	水	午後自学(ｽｷﾞﾝｸﾞ①②)(～30日)	
29	木		
30	金		
31	土	★①②③ 第4回公務員模試(実教)③	★

壱岐高Topics!

東アジア歴史・中国語 コース

<長崎県上海事務所 黒川所長様と オンライン交流を行いました>

<性教育講演会>

6月18日(金)1年生を対象とした性教育講演会を行いました。「妊娠や中絶」「性感染症」「LGBTQ」など、現代に生きる私たちにとって身近な、しかし人にはなかなか聞けないテーマについて講師の方に話をいただきました。生徒からは「恥ずかしくて興味がないと思っていたけど、大人になるために大事な知識や考え方だと思った」と声があがりました。「性」について知ることが自分や相手を大切にすることにつながると実感できたようです。

今年度はコロナ禍でも活動の幅を広げるために、県内企業が中国進出する支援や文化・教育・スポーツ交流などを行っている長崎県上海事務所から支援を受けています。

現在、中国の同世代の学生との交流を模索しています。その最初の取組として、6月16日(水)にオンライン交流を行いました。講師は、中国の最前線の状況をつぶさに把握されている同事務所の黒川恵司郎所長様です。東アジア歴史・中国語コース1年と中国語専攻の2・3年生29名が参加しました。県内企業の取組や最新の中国事情の紹介をしていただいた後、生徒たちの質疑応答を行い、積極的な質問で大変盛り上がることができました。

今後も東アジア歴史・中国語コースならではの新たな取組にご期待ください。



↑ オンラインで黒川所長の話聞く生徒たち

~Shane's column~



Hello! This month I would like to continue talking about skateboarding. The Olympics are coming soon! Originally, I thought that America would win gold. However, Japan has an impressive team. Yuto Horigome has recently won two gold medals in America. He defeated America's best skater, Nyjah Houston. Also, the youngest Olympic athlete is a skateboarder competing for Japan. Sky Brown is only 12 years old. Her nationality is British, but she is a Japanese citizen. Hopefully Japan can make history in their own capital!

